

とぎめき

きなあた瑞浪 バーベキュー広場がオープン

〈折込チラシ〉「草刈り女子育成教室」のご案内と申し込み用紙

【こらむ】

- 土岐川清掃 お疲れ様でした
- 初夏の花苗が配付されました
- 一日市場の正源寺でコンサート開催
- 第44回瑞浪市主張大会が開かれました
- 地域行事に 復活の兆し……

【探訪と再発見】 信長はなぜ 櫻堂薬師を焼いたのか？



土岐川清掃 お疲れ様でした

台風一過の6月4日(日)、市内の土岐川河川で市民清掃活動が行われました。

土岐地区は明德橋から名滝橋周辺まで土岐川堤防を主に、多くの方がゴミ拾いや草刈り作業に参加しました。

散歩や通勤・通学に多くの市民が利用する堤防道路が、とても美しくなりました。清掃作業に参加していただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



各地区の清掃活動の様子

初夏の花苗が配付されました

5月25日(木)、市役所西分庁舎駐車場にて、初夏の花苗が公共花壇管理団体などに配付されました。

今回配付された花苗は、ベゴニア、日々草、サルビア、バーベナの4種類で、育成用肥料もつけて配付されました。

今年の花苗の配付は、地区内25団体から希望がありました。この先さらに増えて、地区内の花壇が花でいっぱいになることを願っています。



花苗配付の様子

一日市場の正源寺でコンサート開催

6月10日(土)、一日市場の正源寺で「くたばっちまえコロナ 区民復活イベント in 正源寺」と題して、一日市場生産森林組合70周年記念コンサートが開かれました。

一日市場在住の酒井家四兄弟(年齢合計325歳)で結成されたグループ「SKB」により、昭和歌謡のギター演奏や歌が披露されました。

みんなで歌うコーナーもあり、43名の参加者は「久しぶりに大きな声を出しました」と体でリズムをとりながら、楽しそうに歌っていました。

「SKB」は福祉まつりや介護施設等から依頼があり、癒し系のバンドとして活躍の場を広げていらっしゃいます。



一日市場正源寺 SKBコンサートの様子

第44回瑞浪市主張大会が開かれました

6月18日(日)、瑞浪市総合文化センターで第44回瑞浪市主張大会が開かれました。本年度は、小学生の部7人、中学生の部4人、高校生の部3人の計14人が出場しました。小学生の部は審査を行わず、全員優秀賞となりました。

土岐小学校からは6年生の浅野雄大(あさのゆうだい)さんが出場し、「温かい言葉で素敵な未来へ」という題で、温かい人間関係をつくるためには思いやりを持った言葉が大切だと訴えました。



土岐小学校6年生 浅野雄大さん主張の様子

土岐地区まちづくり推進協議会 主催

「草刈り女子育成教室」9/16(土) 実施

詳しい内容や受講の申し込みは、本紙68号(8月号)の折り込みチラシをご覧ください。

直接申し込み、問い合わせ：瑞浪市役所西分庁舎1階 まちづくり事務局
0572-56-0136(加藤) *平日の8:30~16:30のみ

きなあつ瑞浪バーベキュー広場がオープン

きなあつ瑞浪バーベキュー広場が、5月23日(火)のお披露目会を経て6月10日(土)にオープンしました。土・日や休日には多くの利用客で賑わっています。土岐地区の中央の土岐川沿岸にあり、櫻堂薬師が近くにあることなど、新しい瑞浪の名所となる施設です。利用に関する詳細は、左下のQRコードからご覧ください。バーベキュー広場の利用には事前予約が必要です。



市内外からの家族連れで賑わうバーベキュー広場の様子

地域行事に 復活の兆し...



土岐地区区長会(小倉弘次会長)が、令和5年度の土岐地区18区の行事の実施予定をアンケート調査しました。

飲食を伴う行事や、接触や声かけを伴うスポーツ行事の復活はまだまだですが、その他の行事は多くの地区で実施を予定していることがわかりました。

新型コロナは、5類扱いになったとはいえ消滅したわけではないのでまだまだ油断はできませんが、地域行事が復活してくると明るい気分になりますね。

行事	実施予定区数
夏祭り・盆踊り	3
秋祭り	9
どんど焼き	9
元日行事	2
祈祷・供養	9
スポーツ大会	2
草刈り	8
親睦行事、忘新年会	2

令和5年5月現在

信長はなぜ 櫻堂薬師を焼いたのか？

元龜2年（1571）9月、織田信長が比叡山を焼き討ちしました。その様子は『信長公記』に詳しく書かれており、お坊さんやか弱き女性、さらに年端もいかめ子どもたちまでが撫で斬りにされたとあります。死者の数は、数千人（信長公記）、三千～四千人（言継卿記）、二千人（ルイスフロイス日記）とあり、史書によってまちまちですが、とにかく多くの人々が殺害されたことは確かでしょう。この事件は日本史上でも有数の虐殺事件とされ、信長は極悪人のイメージとなりました。櫻堂薬師は、比叡山に加勢したとして、この比叡山焼き討ちから一ヶ月後の10月、信長の命を受けた森蘭丸の実兄美濃金山城主の森長可（もりながよし：当時14歳）によって焼かれました（『如来縁起』では、直接火を放ったのは、当時の鶴ヶ城主土岐三兵衛の家臣石原喜四郎とある）。

しかし、信長はなぜ、比叡山や櫻堂薬師のような、仏に帰依し仏法を説く聖なる寺社や僧侶を焼いたのでしょうか。

関係文献を調べていくと、私たちが思い描くような、質素な生活や民に仏法を説く聖人という僧侶のイメージは江戸時代以降のイメージで、戦国時代までの寺社や僧侶の姿はかなり異なっていたようです。すべての寺社がそうであったとは思えませんが、大きな寺社は広大な荘園や領地を持ち、地内道路の関所で通行料を取ったり、「市場」や商人組合である「座」を独占して、莫大な経済力や財産を独占していたようです。寺社によっては美酒享楽にふけり、遊女まで寺社内に入り出していたともいわれます。また、その財産を盗賊から守るために武蔵坊弁慶で知られているような私設の軍隊「僧兵」を組織して、戦国大名たちと敵対していたともいわれます。



戦国時代の「僧兵」の出で立ち

信長は、経済を寺社の独占市場から解放し、自由で活気のある国をつくるために、「関所の廃止」や「楽市楽座（市場開放）」を進めました。しかし、比叡山は贅沢な生活を手放すまいと一向宗を煽動して農民の一揆を加勢し、信長に激しく対抗しました。仏に帰依し衆生を導くべき寺社が墮落し、民を苦しめることは許せないというのが信長の「一向一揆」の戦いの主旨でしたが、比叡山焼き討ちの決め手となったのは、信長を危機へ追い込んだ浅井・朝倉軍を延暦寺が匿ったことにあったようです。信長は、幾度も浅井・朝倉の引き渡しや円満な投降を呼びかけましたが、比叡山が信長を無視し続けたためついには焼き討ちに出たといわれます。

記録には残っていないようですが、櫻堂薬師が焼かれた理由である「比叡山への加勢」も、櫻堂から僧兵が派兵されていたとも考えられます。また、火を放ったのが鶴ヶ城主の家臣ともいわれることから、当時の櫻堂薬師と鶴ヶ城の関係は、比叡山と信長の関係のように危険な状態だったことも考えられます。

土岐地区内では、下沢にあった「^{まみだらじ}曼荼羅寺（1571焼失）」も櫻堂薬師と一緒に焼かれています。また、木ノ暮にあった「稲葉寺（1573焼失）」も織田対武田の戦火で焼かれています。

ふるさとカルタ紹介

や 薬師如来 健康守って 鎮座する

桜堂 櫻堂薬師

ゆ 由緒ある 庄屋の家が 明治天皇休憩所

一日市場 明治天皇之休憩所

よ 頼兼の 思いかなわず 自刃洞

鶴城 土岐頼兼の墓

ら 爛々と 燃える瞳で魔をはらう 清水八幡陶器の狛犬

清水 八幡神社の陶製狛犬

り 龍神を 祀り敬う 清水の溜池

清水 清水ため池の龍神様

発行元 土岐地区まちづくり推進協議会
編集 情報発信部会

連絡先 ☎0572-56-0136（直通） 加藤
発行日 令和5年8月